

同一疾患における実臨床データと臨床試験データとの
薬剤経済比較妥当性に関する疫学研究
博士課程4年 林 行和

【概要】

薬剤経済評価を実施するには、ある程度の症例数が必要となるが、稀少疾患においては、臨床開発時に薬剤経済評価を実施するのに十分な症例数が確保しづらい。そこで、本研究では、稀少疾患において、臨床試験データと実臨床データを用いることで、薬剤経済の評価が可能かどうかを検討した。

論文化の構成に沿って、各章においてどのような内容を含めるかを紹介する。一方、現在の論述内容では、少し内容に厚みが欠けるため、現時点の結果をどのような発表形態にするのか、その後、どのような内容を加えて論文化していくのか等を説明し、ディスカッションする。